

病理学 1

2 年次 後学期	授業科目責任者：宇都宮 忠彦（口腔病理学）
----------	-----------------------

学習の目標 (GIO)	疾病は生体の機能や構造，あるいはその両者が正常範囲から逸脱した現象であり，その原因を「病因」，表出した状態を「病態」と称する。種々の疾病を総合的に理解するためには病因と病態ならびにそれらを結びつけている過程・経過における変化や現象（病変）を考究しなければならず，この理解なくしては医療・歯科医療が成立しない。さらに，疾病を理解することは基礎歯科医学から臨床歯科医学への橋渡しとなる。したがって，本カリキュラムの一般目標は疾病の本態を理解するために，その成り立ちや理論を習得し，ひいては問題発見及び問題解決能力を身につける。
授業担当者	口腔病理学講座：宇都宮忠彦，久山佳代，木場秀夫，齋藤美雪，末光正昌，*山本浩嗣，*豊澤 悟，*大石善也，*太田泰人，*大村光浩，*齋藤隆明，*茂田里恵，*白川誠二，*新崎博文，*黒子光雄，*小泉 歩，*小泉康之，*鈴木 彰，*鈴木慶洋，*田中 強，*田中秀邦，*長岡博司，*中澤啓介，*中村文彦，*西山孝宏，*林 正人，*本多豊彦，*松浦裕敬，*松村由香，*三宅正純，*脇田雅文，*中島十四夫，*猪又俊之，*山本雅博，*玉城吉夫，*青木俊明，*孫 燕，*Meruyei Maria，*村守樹理
教科書	病理・口腔病理組織学実習提要（日本大学松戸歯学部口腔病理学教室編） スタンダード病理学（学建書院） スタンダード口腔病態病理学（学建書院）
参考図書	歯学生のための一般病理アトラス（永末書店） 口腔病理アトラス（文光堂）
実習器材	特になし。
評価方法 (EV)	1) 平常試験 1 (25%)，後半試験 (25%)，平常試験 2 (40%)，チェックテスト (5%) 及び実習帳 (5%) を目安として算出し，60 点以上を合格点とする。ただし，受講態度を加味できる。 2) 合格点に達しなかったものには再試験を実施することがある。ただし，欠席数（正当な理由のない）が全体の 1/5 以上のものは再試験の受験資格がない。 3) 不合格者の評価は 0 ～ 59 点とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	病理学は歯科医師となるのに必要不可欠な知識と技能を学ぶ学問です。そして，歯科医師として身につけておくべきマナーも重要な教育要素と考えています。真摯な努力と誠意，熱意をもって学習してください。きっと良い歯科医師になることと信じます。 学習の姿勢としては，正常の人体の構造と機能の知識の復習とともに予習を必ず行ってください！！

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略 (SBOs) (LS)・準備学習 (予習) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月2日(水) 9:00 ~ 10:30	病因論	学習内容：疾病の成り立ちと病態との関連性について基礎的知識を習得する。 【準備学習項目】 ・疾患の内因と外因を列挙できる。 ・6大病変を列挙できる。 【講義】 行動目標 (SBOs)： ・疾病の原因と成り立ちとの関連性について説明できる。 ・外因を列挙できる。 ・外因の関与する代表的疾患の病態について述べるができる。 学習方略 (LS)： 102 講堂，マルチメディアの併用，第 2 実習室 コアカリキュラム：C-4 国家試験出題基準：必-14-A，総-(VI)-I	宇都宮忠彦
10月2日(水) 10:40 ~ 12:10	病因論	学習内容：疾病の成り立ちと病態との関連性について基礎的知識を習得する。 【準備学習項目】 ・疾患の内因と外因を列挙できる。 ・6大病変を列挙できる。 【講義】 行動目標 (SBOs)： ・内因を列挙できる。 ・内因の関与する代表的疾患の病態について述べるができる。 学習方略 (LS)： 102 講堂，マルチメディアの併用，第 2 実習室 コアカリキュラム：C-4 国家試験出題基準：必-14-A，総-(VI)-I	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月9日(水) 9:00 ~ 10:30	細胞障害, 組織障害及び萎縮(退行性病変)	<p>学習内容: 細胞障害, 組織障害及び萎縮(退行性病変)の病因・病態と生物学的意義を理解する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退行性病変における萎縮, 変性及び壊死の定義について述べる事ができる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs):</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退行性病変の医学的意義について述べる事ができる。 ・萎縮の原因, 種類, 形態学的特徴及び代表的疾患の病態について説明できる。 <p>学習方略(LS):</p> <p>102 講堂, マルチメディアの併用, 第2 実習室 コアカリキュラム: C-4-1) 国家試験出題基準: 必-14-A-j,k, 総-(VI)-2</p>	木場秀夫
10月9日(水) 10:40 ~ 12:10	細胞障害, 組織障害及び萎縮(退行性病変)	<p>学習内容: 細胞障害, 組織障害及び萎縮(退行性病変)の病因・病態と生物学的意義を理解する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退行性病変における萎縮, 変性及び壊死の定義について述べる事ができる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs):</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変性の定義を述べる事ができる。 ・変性の原因, 種類, 形態学的特徴及び代表的疾患の病態について説明できる。 ・壊死, 壊疽, アポトーシスの成因, 意義, 多様性及び病態について解説できる。 <p>学習方略(LS):</p> <p>102 講堂, マルチメディアの併用, 第2 実習室 コアカリキュラム: C-4-1) 国家試験出題基準: 必-14-A-j,k, 総-(VI)-2</p>	同上
10月16日(水) 9:00 ~ 10:30	退行性病変の病理組織学(実習形式)	<p>学習内容: 細胞傷害, 組織傷害及び萎縮(退行性病変)の病因・病態と生物学的意義を理解する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退行性病変における萎縮, 変性及び壊死の定義と病理学的特徴について述べる事ができる。 <p>【実習】</p> <p>行動目標(SBOs):</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退行性病変に分類される疾患や病変の標本を顕微鏡を用いて観察し, それらの病理組織学的特徴について説明できる。(スケッチや所見の完成) <p>(チェックテスト)</p> <p>学習方略(LS):</p> <p>第2 実習室, 顕微鏡 - テレビシステムの併用, 102 講堂, マルチメディアの併用 コアカリキュラム: C-4-1) 国家試験出題基準: 必-14-A-J,k, 総-(VI)-2</p>	宇都宮忠彦 木場秀夫 末光正昌 青木俊明 猪又俊之 太田泰人 黒子光雄 小泉康之 茂田里恵 鈴木彰 田中強 玉城吉夫 中澤啓介 中村文彦 林正人 松浦裕敬 三宅正純 脇田雅文 MeruyeiMaria 久山佳代 齋藤美雪 山本浩嗣 新崎博文 大石善也 大村光浩 小泉歩 齋藤隆明 白川誠二 鈴木慶洋 田中秀邦 長岡博司 中島十四夫 西山孝宏 本多豊彦 松村由香 山本雅博 孫燕 村守樹理
10月16日(水) 10:40 ~ 12:10	退行性病変の病理組織学(実習形式)	<p>学習内容: 細胞傷害, 組織傷害及び萎縮(退行性病変)の病因・病態と生物学的意義を理解する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退行性病変における萎縮, 変性及び壊死の定義と病理学的特徴について述べる事ができる。 <p>【実習】</p> <p>行動目標(SBOs):</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退行性病変に分類される疾患や病変の標本を顕微鏡を用いて観察し, それらの病理組織学的特徴について説明できる。(スケッチや所見の完成) <p>学習方略(LS):</p> <p>第2 実習室, 顕微鏡 - テレビシステムの併用, 102 講堂, マルチメディアの併用 コアカリキュラム: C-4-1) 国家試験出題基準: 必-14-A-J,k, 総-(VI)-2</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者	
10月23日(水) 9:00 ~ 10:30	循環障害	<p>学習内容: 循環障害の病因・病態と医学的意義について学ぶ。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・血液及びリンパ液の循環(経路)について説明できる。 ・循環血液量の異常の種類を列挙できる。 ・閉塞性の循環障害の種類を列挙できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs):</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環血液量の異常の種類を列挙することができる。 ・虚血, 充血, うっ血, 出血の成り立ち, 種類, 病態及び転帰について <p>学習方略(LS): 102 講堂, マルチメディアの併用, 第2 実習室 コアカリキュラム: C-4-3) 国家試験出題基準: 必-4-A-h, 総-(VI)-4</p>	木場秀夫	
10月23日(水) 10:40 ~ 12:10	循環障害	<p>学習内容: 循環障害の病因・病態と医学的意義について学ぶ。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・血液及びリンパ液の循環(経路)について説明できる。 ・循環血液量の異常の種類を列挙できる。 ・閉塞性の循環障害の種類を列挙できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs):</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環血液量の異常の種類を列挙することができる。 ・虚血, 充血, うっ血, 出血の成り立ち, 種類, 病態及び転帰について説明できる。 ・播種性血管内凝固症候群(DIC)の成因と病態について解説できる。 ・側副循環の異常の成因, 種類及び関連する疾患について述べることができる。 <p>学習方略(LS): 102 講堂, マルチメディアの併用, 第2 実習室 コアカリキュラム: C-4-3) 国家試験出題基準: 必-4-A-h, 総-(VI)-4</p>	同上	
10月30日(水) 9:00 ~ 10:30	循環障害の病理組織学(実習形式)	<p>学習内容: 循環障害の病因・病態と医学的意義について学ぶ。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環血液量の異常の種類を列挙し, 病理学的特徴について説明できる。 ・閉塞性の循環障害の種類を列挙し, 病理学的特徴について説明できる。 <p>(チェックテスト)</p> <p>【実習】</p> <p>行動目標(SBOs):</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環障害による主な疾患の標本を顕微鏡を用いて観察し, それらの病理組織学的特徴について説明できる。(スケッチや所見の完成) <p>学習方略(LS): 第2 実習室, 顕微鏡 - テレビシステムの併用, 102 講堂, マルチメディアの併用 コアカリキュラム: C-4-3) 国家試験出題基準: 必-14-A-J,k, 総-(VI)-2</p>	宇都宮忠彦 木場秀夫 末光正昌 青木俊明 猪又俊之 太田泰人 黒子光雄 小泉康之 茂田里恵 鈴木彰 田中強 玉城吉夫 長岡博司 中島十四夫 西山孝宏 本多豊彦 松村由香 山本雅博 孫燕 MeruyeiMaria	久山佳代 齋藤美雪 山本浩嗣 新崎博文 大石善也 大村光浩 小泉歩 齋藤隆明 白川誠二 鈴木慶洋 田中秀邦 豊澤悟 中澤啓介 中村文彦 林正人 松浦裕敬 三宅正純 脇田雅文 村守樹理
10月30日(水) 10:40 ~ 12:10	循環障害の病理組織学(実習形式)	<p>学習内容: 循環障害の病因・病態と医学的意義について学ぶ。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環血液量の異常の種類を列挙し, 病理学的特徴について説明できる。 ・閉塞性の循環障害の種類を列挙し, 病理学的特徴について説明できる。 <p>【実習】</p> <p>行動目標(SBOs):</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環障害による主な疾患の標本を顕微鏡を用いて観察し, それらの病理組織学的特徴について説明できる。(スケッチや所見の完成) <p>学習方略(LS): 第2 実習室, 顕微鏡 - テレビシステムの併用, 102 講堂, マルチメディアの併用 コアカリキュラム: C-4-3) 国家試験出題基準: 必-14-A-J,k, 総-(VI)-2</p>	同上	

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月6日(水) 9:00 ~ 10:30	修復と再生 (進行性病変)	学習内容: 進行性病変としての組織・細胞の修復と再生に関する病因・病態及び生物学的意義について習得する。 【準備学習項目】 ・細胞分裂周期について説明できる。 ・細胞分裂周期における形態学的特徴について解説できる。 ・幹細胞あるいは多分化能について説明できる。 【講義】 行動目標(SBOs): ・増殖と肥大について説明できる。 ・修復と再生について解説できる。 ・細胞・組織の再生能力について述べるができる。 学習方略(LS): 102講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室 コアカリキュラム: C-4-2) 国家試験出題基準: 必-14-A-c,j,l, 総-(VI)-3	宇都宮忠彦
11月6日(水) 10:40 ~ 12:10	修復と再生 (進行性病変)	学習内容: 進行性病変としての組織・細胞の修復と再生に関する病因・病態及び生物学的意義について習得する。 【準備学習項目】 ・進行性病変の定義と種類について説明できる。 【講義】 行動目標(SBOs): ・創傷治癒に関与する細胞とその過程を解説できる。 ・化生を説明できる。 ・細胞・組織の再生能力について述べるができる。 学習方略(LS): 102講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室 コアカリキュラム: C-4-2) 国家試験出題基準: 必-14-A-c,j,l, 総-(VI)-3	同上
11月13日(水) 9:00 ~ 10:30	進行性病変の病理組織学(実習形式)	内容: 進行性病変と炎症の病理学的特徴について理解する。 【実習】 行動目標(SBOs): ・進行性病変と炎症の代表的疾患に関する病理組織所見と病態のスケッチを実習ノートに記載し, 完成する。 (チェックテスト) 学習方略(LS): 第2実習室, 顕微鏡 - テレビシステムの併用, 102講堂, マルチメディアの併用 コアカリキュラム: D-4-2,-4) 国家試験出題基準: 必-14-A-c,d,e,j,l, 総-(VI)-3,5	宇都宮忠彦 木場秀夫 未光正昌 青木俊明 猪又俊之 太田泰人 黒子光雄 小泉康之 茂田里恵 鈴木彰 田中強 玉城吉夫 中澤啓介 西山孝宏 本多豊彦 松村由香 山本雅博 孫燕 MeruyeiMaria 久山佳代 齋藤美雪 山本浩嗣 新崎博文 大石善也 大村光浩 小泉歩 齋藤隆明 白川誠二 鈴木慶洋 田中秀邦 長岡博司 中島十四夫 林正人 松浦裕敬 三宅正純 脇田雅文 村守樹理
11月13日(水) 10:40 ~ 12:10	進行性病変の病理組織学(実習形式)	内容: 進行性病変と炎症の病理学的特徴について理解する。 【実習】 行動目標(SBOs): ・進行性病変と炎症の代表的疾患に関する病理組織所見と病態のスケッチを実習ノートに記載し, 完成する。 学習方略(LS): 第2実習室, 顕微鏡 - テレビシステムの併用, 102講堂, マルチメディアの併用 コアカリキュラム: D-4-2,-4) 国家試験出題基準: 必-14-A-c,d,e,j,l, 総-(VI)-3,5	同上
11月20日(水) 9:00 ~ 10:30	平常試験1 (11/22(金)に振り替え)	内容: 病因論、退行性病変、循環障害及び進行性病変に関する病理学的知識を問う。	宇都宮忠彦 木場秀夫 未光正昌 久山佳代 齋藤美雪
11月20日(水) 10:40 ~ 12:10	平常試験1 (11/22(金)に振り替え)	内容: 病因論、退行性病変、循環障害及び進行性病変に関する病理学的知識を問う。	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者	
11月27日(水) 9:00 ~ 10:30	炎症	<p>学習内容: 炎症の病因・病態と医学的意義について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炎症のケミカルメディエーターについて説明できる。 ・白血球, リンパ球, 形質細胞, マクロファージ, NK細胞等の炎症性細胞の機能について説明できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs):</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炎症の定義と発生機序について解説できる。 ・5つの臨床症状とその病理組織学的な裏付けについて説明できる。 ・炎症の分類, 病理組織学的特徴及び経時的变化について述べる事ができる。 <p>学習方略(LS): 102講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室 コアカリキュラム: C-4-4) 国家試験出題基準: 必-14-A-d,e, 総-(VI)-5</p>	久山佳代	
11月27日(水) 10:40 ~ 12:10	炎症	<p>学習内容: 炎症の病因・病態と医学的意義について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炎症のケミカルメディエーターについて説明できる。 ・白血球, リンパ球, 形質細胞, マクロファージ, NK細胞等の炎症性細胞の機能について説明できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs):</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変質性炎の病態と代表的疾患について説明できる。 ・滲出性炎の成因, 種類, 形態学的特徴及び代表的疾患について解説できる。 ・増殖性炎や特異性炎の成因, 種類, 形態学的特徴及び代表的疾患について説明できる。 ・膠原病と自己免疫疾患を列挙することができる。 ・膠原病と自己免疫疾患の成因及び病態について解説できる。 ・アレルギー性炎の成因, 種類, 形態学的特徴及び代表的疾患について説明できる。 <p>学習方略(LS): 102講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室 コアカリキュラム: C-4-4) 国家試験出題基準: 必-14-A-d,e, 総-(VI)-5, 総-(VI)-6</p>	同上	
12月4日(水) 9:00 ~ 10:30	炎症の病理組織学(実習形式)	<p>学習内容: 炎症の病因・病態と医学的意義について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炎症性細胞の役割について説明できる。 <p>【実習】</p> <p>行動目標(SBOs):</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表的な炎症性疾患の標本を顕微鏡を用いて観察し、それらの病理組織学的特徴について説明できる。 <p>(チェックテスト)</p> <p>学習方略(LS): 第2実習室, 顕微鏡 - テレビシステムの併用, 102講堂, マルチメディアの併用 コアカリキュラム: C-4-4) 国家試験出題基準: 必-14-A-d,e, 総-(VI)-5</p>	宇都宮忠彦 木場秀夫 末光正昌 青木俊明 猪又俊之 太田泰人 黒子光雄 小泉康之 茂田里恵 鈴木彰 田中強 玉城吉夫 中澤啓介 中村文彦 林正人 松浦裕敬 三宅正純 脇田雅文 MeruyeiMaria	久山佳代 齋藤美雪 山本浩嗣 新崎博文 大石善也 大村光浩 小泉歩 齋藤隆明 白川誠二 鈴木慶洋 田中秀邦 長岡博司 中島十四夫 西山孝宏 本多豊彦 松村由香 山本雅博 孫燕 村守樹理
12月4日(水) 10:40 ~ 12:10	炎症の病理組織学(実習形式)	<p>学習内容: 炎症の病因・病態と医学的意義について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炎症性細胞の役割について説明できる。 <p>【実習】</p> <p>行動目標(SBOs):</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表的な炎症性疾患の標本を顕微鏡を用いて観察し、それらの病理組織学的特徴について説明できる。 <p>学習方略(LS): 第2実習室, 顕微鏡 - テレビシステムの併用, 102講堂, マルチメディアの併用 コアカリキュラム: C-4-4) 国家試験出題基準: 必-14-A-d,e, 総-(VI)-5</p>	同上	

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月11日(水) 9:00～10:30	嚢胞	<p>学習内容：嚢胞の成り立ちや生物学的意義について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嚢胞の定義について述べることができる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嚢胞の分類について説明できる。 ・顎骨に発生する嚢胞の種類，成り立ち及び病理組織学的特徴について説明できる。 ・軟組織に発生する嚢胞の種類，成り立ち及び病理組織学的特徴について説明できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>102講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：E-2-4)-(5)- 国家試験出題基準：必-14-B-h，総-(VI)-11-F</p>	山本浩嗣 豊澤悟
12月11日(水) 10:40～12:10	嚢胞	<p>学習内容：嚢胞の成り立ちや生物学的意義について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嚢胞の定義について述べることができる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嚢胞の分類について説明できる。 ・顎骨に発生する嚢胞の種類，成り立ち及び病理組織学的特徴について説明できる。 ・軟組織に発生する嚢胞の種類，成り立ち及び病理組織学的特徴について説明できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>102講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：E-2-4)-(5)- 国家試験出題基準：必-14-B-h，総-(VI)-11-F</p>	同上
12月18日(水) 9:00～10:30	先天異常・奇形	<p>学習内容：先天異常・奇形と症候群の成り立ち、分類及び病態について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先天異常の種類や代表的疾患を列挙できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先天異常の成因について述べることができる。 ・遺伝性疾患について説明できる。 ・染色体異常について解説できる。 ・奇形の定義について述べることができる。 ・奇形の成因及び病態について解説できる。 ・顎顔面口腔領域に部分症を現す症候群や系統疾患の成り立ち、分類及び病態について説明できる。 <p>学習方略(LS)</p> <p>102講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：E-2-4)-(1) 国家試験出題基準：必-14-A-b,-B-e，総-(VI)-1-A</p>	久山佳代
12月18日(水) 10:40～12:10	先天異常・奇形	<p>学習内容：先天異常・奇形と症候群の成り立ち、分類及び病態について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先天異常の種類や代表的疾患を列挙できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先天異常の成因について述べることができる。 ・遺伝性疾患について説明できる。 ・染色体異常について解説できる。 ・奇形の定義について述べることができる。 ・奇形の成因及び病態について解説できる。 ・顎顔面口腔領域に部分症を現す症候群や系統疾患の成り立ち、分類及び病態について説明できる。 <p>学習方略(LS)</p> <p>102講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：E-2-4)-(1) 国家試験出題基準：必-14-A-b,-B-e，総-(VI)-1-A</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月8日(水) 9:00 ~ 10:30	腫瘍	<p>学習内容：腫瘍の病因・病態と生物学的意義について学ぶ。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上皮性組織と非上皮性組織について説明できる。 ・腫瘍の定義を述べるができる。 ・細胞分裂周期と形態学的特徴について解説できる。 ・非歯原性腫瘍を列挙できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍の発生原因と組織発生(多段階説)を説明できる。 ・良・悪性腫瘍の肉眼的及び病理組織学的鑑別点について解説できる。 ・腫瘍の分類について説明できる。 ・上皮性及び非上皮性腫瘍の病理組織学的特徴について述べるができる。 ・非歯原性腫瘍の病理組織学的特徴について解説できる。 ・異形成、退形成及び分化について説明できる。 ・腫瘍の異型性と多形性について解説できる。 ・腫瘍の浸潤，発育及び転移様式について説明できる。 ・悪性腫瘍の進行度について解説できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>102講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：C-4-5) 国家試験出題基準：必-14-A-g，総-(VI)-7</p>	宇都宮忠彦
1月8日(水) 10:40 ~ 12:10	腫瘍	<p>学習内容：腫瘍の病因・病態と生物学的意義について学ぶ。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上皮性組織と非上皮性組織について説明できる。 ・腫瘍の定義を述べるができる。 ・細胞分裂周期と形態学的特徴について解説できる。 ・非歯原性腫瘍を列挙できる。 <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍の発生原因と組織発生(多段階説)を説明できる。 ・良・悪性腫瘍の肉眼的及び病理組織学的鑑別点について解説できる。 ・腫瘍の分類について説明できる。 ・上皮性及び非上皮性腫瘍の病理組織学的特徴について述べるができる。 ・非歯原性腫瘍の病理組織学的特徴について解説できる。 ・異形成、退形成及び分化について説明できる。 ・腫瘍の異型性と多形性について解説できる。 ・腫瘍の浸潤，発育及び転移様式について説明できる。 ・悪性腫瘍の進行度について解説できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>102講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：C-4-5) 国家試験出題基準：必-14-A-g，総-(VI)-7</p>	同上
1月15日(水) 9:00 ~ 10:30	腫瘍の病理組織学(実習形式)	<p>学習内容：腫瘍の病因・病態と医学的意義について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上皮性組織と非上皮性組織について説明できる。 ・腫瘍の定義を述べるができる。 ・細胞分裂周期と形態学的特徴について解説できる。 ・非歯原性腫瘍を分類できる。 <p>【実習】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍の代表的な疾患や病変の標本を顕微鏡を用いて観察し，それらの病理組織学的特徴について説明できる。 <p>(チェックテスト)</p> <p>学習方略(LS)：</p> <p>第2実習室，顕微鏡 - テレビシステムの併用，102講堂，マルチメディアの併用 コアカリキュラム：E-4-5) 国家試験出題基準：必-14-A-g，総-(VI)-7</p>	宇都宮忠彦 木場秀夫 末光正昌 青木俊明 猪又俊之 太田泰人 黒子光雄 小泉康之 茂田里恵 鈴木彰 田中強 玉城吉夫 長岡博司 中島十四夫 西山孝宏 本多豊彦 松村由香 山本雅博 孫燕 MeruyeiMaria 久山佳代 齋藤美雪 山本浩嗣 新崎博文 大石善也 大村光浩 小泉歩 齋藤隆明 白川誠二 鈴木慶洋 田中秀邦 豊澤悟 中澤啓介 中村文彦 林正人 松浦裕敬 三宅正純 脇田雅文 村守樹理

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月15日(水) 10:40 ~ 12:10	腫瘍の病理組織学(実習形式)	<p>学習内容：腫瘍の病因・病態と医学的意義について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上皮性組織と非上皮性組織について説明できる。 ・腫瘍の定義を述べることができる。 ・細胞分裂周期と形態学的特徴について解説できる。 ・非歯源性腫瘍を分類できる。 <p>【実習】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍の代表的な疾患や病変の標本を顕微鏡を用いて観察し、それらの病理組織学的特徴について説明できる。 <p>学習方略(LS)：</p> <p>第2実習室，顕微鏡・テレビシステムの併用，102講堂，マルチメディアの併用</p> <p>コアカリキュラム：E-4-5)</p> <p>国家試験出題基準：必-14-A-g，総-(VI)-7</p>	同上
1月22日(水) 9:00 ~ 10:30	後半試験	<p>内容：</p> <p>炎症、嚢胞、先天異常・奇形及び腫瘍に関する病理学手知識について問う。</p>	<p>宇都宮忠彦 木場秀夫 末光正昌</p> <p>久山佳代 齋藤美雪</p>
1月22日(水) 10:40 ~ 12:10	後半試験	<p>内容：</p> <p>炎症、嚢胞、先天異常・奇形及び腫瘍に関する病理学手知識について問う。</p>	同上
2月5日(水) 9:00 ~ 10:30	平常試験2 (2/7(金)に振り替え)	<p>内容：</p> <p>病因論、退行性病変、循環障害、進行性病変、炎症、嚢胞、先天異常・奇形及び腫瘍に関する病理学的知識を問う。</p>	同上
2月5日(水) 10:40 ~ 12:10	平常試験2 (2/7(金)に振り替え)	<p>内容：</p> <p>病因論、退行性病変、循環障害、進行性病変、炎症、嚢胞、先天異常・奇形及び腫瘍に関する病理学的知識を問う。</p>	同上